

(一般質問)

| 質問日 | 令和5年12月1日(金) | | 質問方式 | 分割方式 | | | |
|------------------------|---|-----|---------|------|---|--|-------|
| 質問順位 | 6 | 会派名 | 自由民主党浜松 | 議席番号 | 5 | 氏名 | 辻村 公子 |
| 表 題 | 質 問 内 容 | | | | | 答弁者の職名 | |
| 1 スポーツの振興について | <p>本市は気候にも恵まれ、多種目におたるスポーツが盛んであり、スポーツ振興を通じた地域活性化を図ることが重要である。「戦略計画2024」の文化・生涯学習の基本政策では「感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造」を掲げ、スポーツに特化した組織体制を整備し、官民連携を実現するプラットフォームの構築や、スポーツ政策の新たなビジョンの策定を推進することとしている。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 本市は陸上競技が盛んな地域であり、四ツ池公園陸上競技場の利用者も年々増加傾向である。現在、整備方針に基づき検討されているが、観客と選手が一体になって楽しめる施設を含めた四ツ池公園陸上競技場の整備について考えを伺う。</p> <p>(2) 令和8年度に予定している休日の部活動の地域移行に向けて、新設されるスポーツ担当と学校教育部が連携して課題に取り組むことが重要と考えるがどうか伺う。</p> <p>(3) スポーツ推進委員は、本市における地域スポーツ推進の中核的な存在であるが、浜松市スポーツ推進委員アンケート調査の結果より様々な課題が出ている。特になり手不足の問題について本市の取組を伺う。</p> | | | | | <p>中野市長</p> <p>嶋野文化振興担当部長</p> <p>〃</p> | |
| 2 デジタルを活用した市政情報の発信について | <p>デジタル化は、市民生活の利便性を向上させ、また業務の効率化と共に、市民一人ひとりの状況に応じたきめ細かいサービスが低コストで提供できる。その中で本市のホームページは、PCとスマホのどちらでも見やすいように配色を用いた意味づけと画面のサイズを考慮したレイアウトなどが工夫されているという評価がされ、民間会社が実施した2021年の「政令指定都市Webサイトユーザービリティランキング」で2位となっている。</p> <p>そこで、デジタルを活用した市政情報発信について、以下伺う。</p> <p>(1) 政令指定都市の中で1位に選ばれた千葉市においては、トップページにチャットボット機能が利用できるように工夫されているが、本市のチャットボット機能の活用状況や利用状況、またそれを市政運営にどのように反映しているか伺う。</p> <p>(2) 本市が目指す将来像の中には、多文化共生都市を築くビジョンがある。外国人市民との地域社会での共生を進めていくため、言語や文化の違いによる障壁を軽減する</p> | | | | | 石坂企画調整部長 | |

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

| 表 題 | 質 問 内 容 | 答弁者の職名 |
|----------------------|--|----------|
| | <p>とともに、地域における基本的な生活ルールの順守と社会的な義務の遂行を支援し、必要な行政サービスを提供するとある。こうしたことから、本市で生活している外国人市民への情報発信は重要であるが、ホームページの言語切り替え表示が分かりづらく、災害時における情報提供にも不安が残る。</p> <p>そこで、本市で生活している外国人市民に対して、どのように生活情報や災害情報を提供しているのか伺う。</p> <p>(3) 現在、広報はままつは紙媒体を毎月発行しているが、デジタル化の状況と今後どのような取組を行っていくか伺う。</p> | |
| 3 外国人の子どもの支援について | <p>本市には、中学生の年齢で初めて日本の学校に就学する外国人生徒のための初期日本語指導拠点校「江南教室」がある。今年度、本市に編入された外国人児童生徒は何人いるのか。</p> <p>また、現在、日本語指導拠点校は南区の1か所しかないが、他地区に新しく増設する考えはないか伺う。</p> | 奥家学校教育部長 |
| 4 道路行政における交通事故対策について | <p>交通事故14年間ワーストワン脱出を目指す本市では、事故防止のための様々な取組をしている。通勤時に自動車の利用が多い本市では、朝夕の道路渋滞に伴う抜け道などでの追突事故・出会い頭の事故が約7割を占めている。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 本市では全国でも行政が行った事例が極めて少ない新たな取組として、交通事故AI分析を実施したが、その結果と今後の展開について伺う。</p> <p>(2) 最近の車両には白線感知機能が搭載されているため、他自治体では県と連携して白線の引き直し事業に取り組んでいる。本市においても白線の消えている、また消えかかっている道路が多く見受けられる。近い将来の自動運転時代の到来を見据え、交通安全を確保するためにも白線の引き直しは取り組まなければいけない重要な課題であると考えますがどうか伺う。</p> | 伏木土木部長 |
| 5 災害リスクを踏まえた防災まちづくり | <p>近年、気候変動に伴う豪雨災害の頻発化・激甚化を踏まえ、河川の整備を加速化するとともに、水災害のリスクを踏まえた防災まちづくりの推進が重要である。災害時において電気より水道の復旧はさらに時間がかかり、飲用水及び生活用水の確保は、重要課題の一つでもある。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 本年6月2日の豪雨では、九領川の流域の浸水被害が発生した。九領川においては、現在、下流側から川幅を</p> | 伏木土木部長 |

| 表 題 | 質 問 内 容 | 答弁者の職名 |
|---------------|---|---------|
| | <p>広げる改修工事が進められているが、計画区間である県道宇布見浜松線までの河川工事の進捗状況及び早期整備の取組と九領川上流域での浸水対策について伺う。</p> <p>(2) 現在、本市では水道施設の耐震化が進められているが、それを補完する手段の一つに防災井戸の確保も必要である。本市では井戸所有者に対して、防災井戸として地域住民に無償提供することなどの可能性についての意向調査を実施している状況である。</p> <p>ア 浜松市地域防災計画における防災井戸の位置づけを伺う。</p> <p>イ 防災井戸を登録し、地域住民の方々には提供したいが、浜松市防災マップへ掲載して、広く一般に周知したくない個人や企業もいると思うが、登録に際しての条件について伺う。</p> <p>ウ 意向調査を行いながら、登録者を募っているとのことであるが、登録は19件と低調である。今後、登録者を増やす方策として、例えば、手押し井戸ポンプの設置に対する助成などの考えを伺う。</p> | 石田危機管理監 |
| 6 魅力多彩 個性輝く西区 | <p>私の住むまちでもある西区では、目指すまちの姿として「魅力多彩 個性輝く西区」を区政運営方針に掲げ、推進するまちづくりの4つの柱「安心して暮らせるまちづくり」、「健やかで元気あふれるまちづくり」、「市民協働によるまちづくり」、「賑わいと活気にあふれるまちづくり」のもと、様々な取組を行い、成果が挙げられた。そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 民間会社が実施した「街の幸福度&住み続けたい街ランキング2023」（静岡県内版）で浜松市西区が2年連続1位となり大変嬉しいニュースである。来年1月1日から行政区再編により新3区体制がスタートするが、これまで西区で進めてきたまちづくりによって培われた、地域のアイデンティティを今後いかに引き継いでいくのか伺う。</p> <p>(2) 豊かな自然環境、風光明媚な景観は、災害発生リスクと背中合わせである。昨年の台風第15号では河川流域の低地で浸水被害が発生し、さらに本年6月2日の豪雨でも家屋の全壊など被害状況が際立った。そうした中、西区独自の取組として「わたしの減災プロジェクト2023」を実施し、区民の意識向上につながった。その総括について伺う。</p> | 仲井西区長 |